

インフルエンザが減少に転じました

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	↘ 2,095	3,012	百日咳	→ 1	1
RSウイルス感染症	↗ 40	37	ヘルパンギーナ	↗ 3	1
咽頭結膜熱	↗ 17	14	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↗ 75	64
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↘ 54	67	急性出血性結膜炎	→ 0	0
感染性胃腸炎	↘ 580	655	流行性角結膜炎(はやり目)	↘ 25	27
水痘	↘ 13	17	細菌性髄膜炎	→ 0	0
手足口病	↘ 0	4	無菌性髄膜炎	↗ 3	2
伝染性紅斑(りんご病)	↘ 63	71	マイコプラズマ肺炎	↘ 7	8
突発性発しん	↘ 20	28	クラミジア肺炎	→ 0	0
			感染性胃腸炎(ロウウイルス)	↗ 19	15

報告が多い感染症  
 ● インフルエンザ  
 ● 感染性胃腸炎  
 ● 流行性耳下腺炎

大きな流行が発生又は継続しつつある地域  
 インフルエンザ : 宇城、有明、人吉、八代、山鹿、菊池、水俣、熊本市、天草  
 感染性胃腸炎 : 八代、有明、山鹿、菊池  
 伝染性紅斑 : 熊本市、宇城、菊池、天草  
 流行性耳下腺炎 : 山鹿

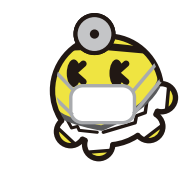
保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロウウイルス)	
熊本市保健所	592	5	3	18	121	7		33	8		1	13		19			3	6		9
山鹿保健所	88			1	35			2				9	*	*						
菊池保健所	234		12	13	86	1		8	3	1	1	16		5						
阿蘇保健所	51				7			1					*	*						
御船保健所	83			2	32							1	*	*						
八代保健所	217	7		9	88	1		3	4					1						
水俣保健所	86	2	1	2	33								*	*						5
人吉保健所	159	5		1	22	1		1				3	*	*						4
有明保健所	257	2	1		106	2		4	4			26					1			1
宇城保健所	193	8		4	25	1		7	1			5	*	*						
天草保健所	135	11		4	25			4			1	2								
計	2095	40	17	54	580	13	0	63	20	1	3	75	0	25	0	3	7	0	19	

年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)

インフルエンザ定点	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上	
インフルエンザ	2095	9	35	84	82	94	148	122	153	141	151	93	451	70	60	120	98	63	52	31	38	
小児科定点年齢	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上							
RSウイルス感染症	40	5	13	19	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0							
咽頭結膜熱	17	0	2	4	4	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	54	0	0	2	3	5	7	9	8	8	2	2	4	0	4							
感染性胃腸炎	580	3	19	97	59	60	48	33	35	23	24	39	68	8	64							
水痘	13	1	0	3	1	2	0	1	4	0	0	0	1	0	0							
手足口病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
伝染性紅斑	63	0	0	2	2	12	7	12	11	5	2	3	5	1	1							
突発性発しん	20	1	5	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
百日咳	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0							
ヘルパンギーナ	3	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0							
流行性耳下腺炎	75	0	0	10	5	14	16	12	7	5	3	1	1	1	0							
眼科定点年齢区分	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上		
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	25	0	1	1	2	1	0	0	1	1	0	1	0	1	4	7	2	2	1	0	0	
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上					
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	3	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	7	0	1	0	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
感染性胃腸炎(ロウウイルス)	19	3	12	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

インフルエンザが減少に転じました



3月7日~3月13日の県内のインフルエンザの報告数(県内の80定点医療機関からの報告)は、2,095件で、前週2月29日~3月6日の3,012件より減少し、14週続いた増加から減少に転じ、流行のピークを越えたとみられます。しかし、保健所別では、宇城、有明、人吉、八代、山鹿、菊池、水俣、熊本市、天草が警報レベル、阿蘇、御船は注意レベルとなっており、まだまだ注意が必要です。

感染拡大防止のため、外出からの帰宅後や食事の前には時間をかけた丁寧な手洗いを心がけましょう。また、マスクを着用するなど、咳エチケットに努めましょう。

インフルエンザの予防方法

- 時間をかけた丁寧な手洗い  
流水や石けんでの手洗いは、手指についたウイルスを洗い流す効果があるといわれています。ただし、洗いすぎが不十分だとウイルスを完全に除去することができません。20秒以上時間をかけた丁寧な手洗いを心がけましょう。指先・手首・指の付け根は、特に丁寧に洗いましょう。さらに、手洗いの後に、アルコール消毒を行うとより効果的です。
- 咳エチケット  
咳やくしゃみは他の人に向けないようにしましょう。また、咳やくしゃみができる時は、できるだけマスクをつけましょう。特に、手のひらで受け止めたときは、すぐに手を洗いましょう。マスクは、感染者がつけたほうが、感染予防効果は高いといわれています。

※熊本県のホームページ  
「今冬のインフルエンザ総合対策に取り組みましよう」  
[http://www.pref.kumamoto.jp/kiji\\_13799.html](http://www.pref.kumamoto.jp/kiji_13799.html)